



仁誠会通信

# 心ひとつ



やさしく  
やわらかく  
あたたかく

第12号  
2015.4

目次

2-3 満足度調査ご報告

4-5 今後の取り組み

6-7 永年透析を語る

ボランティアさん紹介

8 生き生きフォーラムの報告



介 護  
十 時

介 護  
高 橋

赤とんぼ入所科4階 介護士 十時 淳・高橋 央 (仁誠会のホームページ「チャレンジ! 夢に向かって」に2人の声を掲載しています。)

## 平成27年度 仁誠会事業計画

### 理事長方針

## 心ひとつ

～ やさしく  
やわらかく  
あたたかく～



- ・生きる「楽しさ」を大切にする
- ・「心」と「知恵」と「力」を足しあう
- ・「明るく楽しい職場」を創る

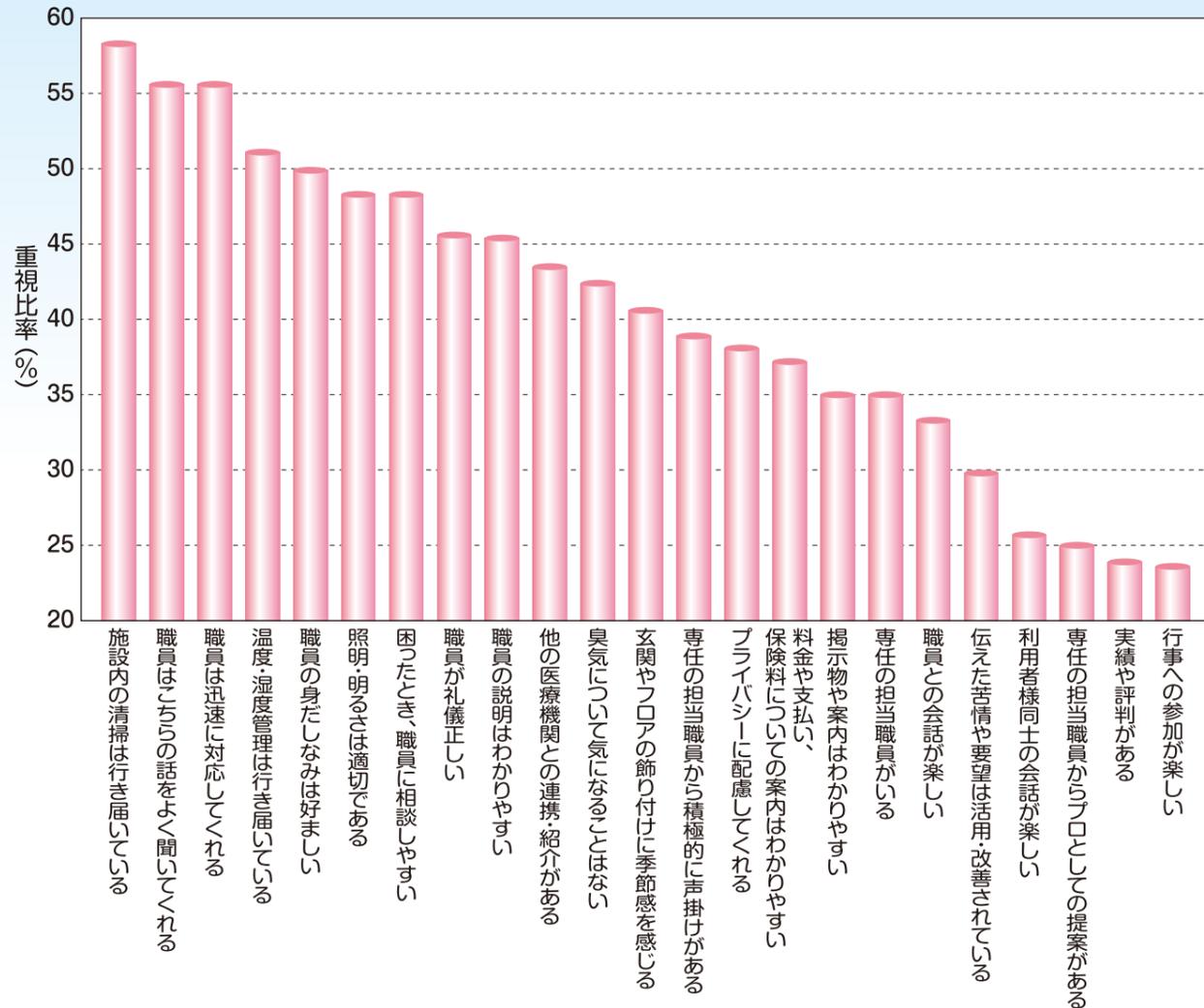
## 医療法人社団 仁誠会 平成27年度の動き

- 仁誠会クリニック新屋敷 11月新装開院
- 新規施設(小規模多機能・有料老人ホーム)H28年3月開設

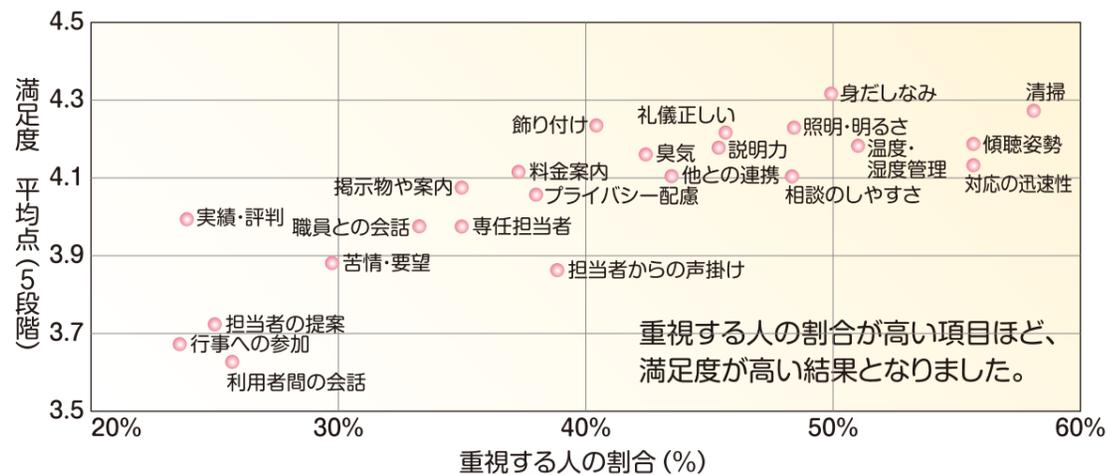
- 6月 (第13回)赤とんぼ杯ダーツ大会
- 7月 仁誠会勉強会
- 8月 各施設夏祭り
- 10月 仁誠会文化祭
- 11月 ボランティア交流会
- 1月 仁誠会患者 新年会
- 3月 第4回 生き生きフォーラム

### 3. 重視する項目

Q.当施設を利用する際にあなたが重視する項目は何ですか？(複数回答)



### 4. 重視する項目と満足度の関係



## 患者さん・利用者さん・そのご家族様

# 平成26年度 満足度調査結果のご報告と今後の取組み

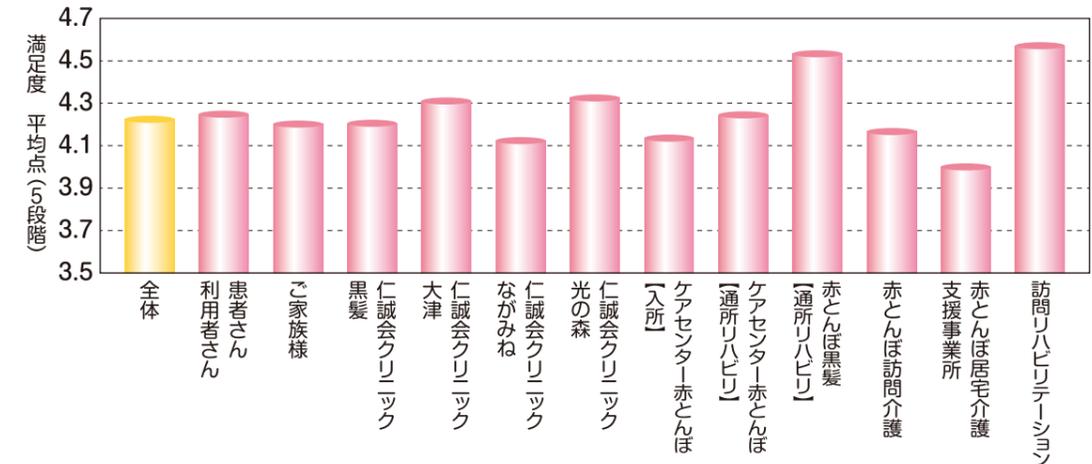
2014年11月～12月に、患者さん、ご利用者さん・ご家族様を対象にアンケートを実施いたしました。ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。主な集計結果をご報告いたします。この調査結果をふまえ、皆様から頂きました貴重なご意見を参考に、今後も一層のサービスの向上に努めてまいります。今後ともお気づきの点がございましたら、ご遠慮なくご指摘下さいますようお願い申し上げます。

医療法人社団 仁誠会

- 調査実施期間 …… 2014年11月25日から同12月5日
- 調査方法 …… 質問紙調査 (回答者記入)
- 回答数 …… 712件 (配布数1,805件のうち39.4%)

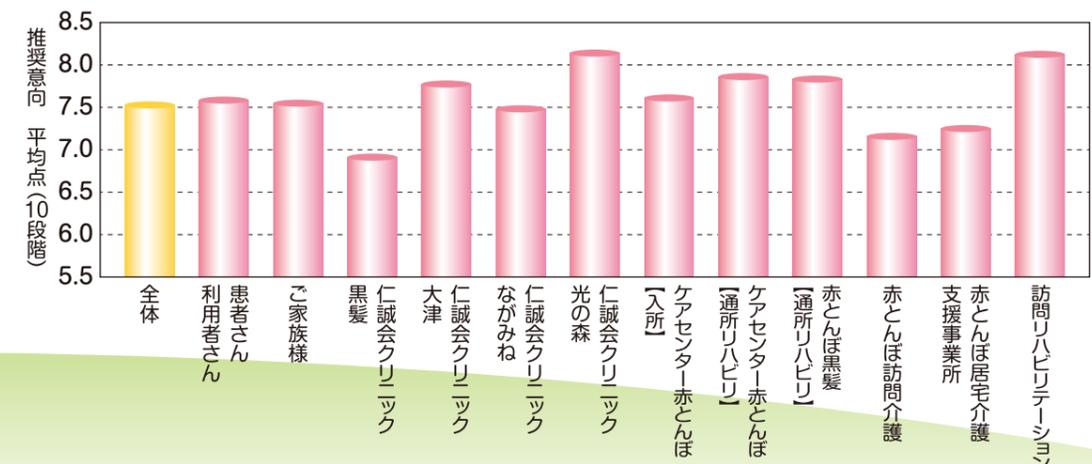
## 1. 「総合満足度」5段階で4点以上

Q.過去1年間にあなたが利用した経験から判断して、当施設の対応やサービスにどの程度満足していますか。(5段階評価)



## 2. 当法人をお知り合いの方へ紹介頂けますか？ 10段階で7点以上

Q.当施設について、友人や知人にすすめる可能性はどのくらいありますか。(10段階評価)



## 自立支援への取り組み

理学療法士 赤とんぼリハ科 小山光浩

「専任の担当職員からの積極的なアドバイス」を、利用者さんの期待以上にしていこうために、「自立支援」という切り口で取り組みを行っていきたくと考えています。

リハビリと聞くと「マッサージを思い浮かべる方も多いと思いますが、それは違います。リハビリは筋力トレーニングであり、その先にあるのは「自立」です。リハビリは何のためにするのか？それは、「自分の家で安全に暮らすことができるようになるため」、「できなくなつた動作をできるようにするために」、「歩けるようになるため」など人それぞれ目的があります。その目的を達成するためには、その動作に必要な筋力や体力が必要になります。その筋力・体力をつける運動（基礎の筋力）と生活の動作に合わせた動作訓練（実践訓練）を行うのがリハビリになります。でも、「運動がしたいけれど痛みがあつてできない」、「どのような運動をすればいいかわからない」などの疑問が出てくると思います。赤とんぼでは、リハビリテーション科の理学療法士・作業療法士を中心に、皆様の疑問に専門的観点から答え、その人にあった提案をしていきたくと考えています。



## 質の向上を目指して

仁誠会介護部長 東健一

「職員により、ケアの質が異なる」との意見を頂き、ケアの統一化と専門性の強化、「気づき」のある職員の育成のために現在、看護・介護科では5つの基本ケアとして、排泄・入浴・離床・食事・レクリエーションと各委員会を設け、看護・介護職（入所・通所・赤とんぼ黒髪・訪問介護）全員がどれかの委員会へ所属し、定期的なミーティングや事例検討会、勉強会、他フロアとの情報交換などに力を入れています（約2年サイクルで次の委員会へ）。

平成27年度は新たに、7つの基本ケアとして、看取り・認知症委員会を追加し、更に専門性の強化を図っていきます。

その他にも27年度は、介護職員の技術面の向上・統一化を図る為に、実技検定試験（内部検定制度）を導入していきます。実際の個々の職員の現場でのケアを、100以上の項目で評価を行い「できる」「できない」を明確にし、教育に力を入れ、施設全体でケアレベルの均一化を図っていきます。

また、更にはご利用者の安全な移乗・移動の為に施設全体で、福祉用具（リフトなど）の導入を行い、1年かけて「抱えないケア」を目指します。

私達は、質の高いサービスの提供ができるように、また、皆さまが安心して、当施設で過ごすことができるように、プロとしての自覚を持って、職員教育に力を入れています。



## クリニックの取り組み

仁誠会看護部長 吉本涼子

クリニックの取り組みとして、かゆみやフットケア、食事療法などの勉強会・透析前・透析中の運動療法など、いろんな取り組みを実施しています。アンケート結果で5点満点中4点とおおむね良い評価をいただき、ありがたうございます。ただ、担当職員からの積極的なお声掛けや、プロとしての提案が不足しているのではないかとこの意見もありました。お言葉を受け止め、改善できるようにまいります。

クリニックの取り組みの一つである、運動のお声掛けをさせていただくと、「口ごころから歩いているからいい」と話される方もいますが、筋肉は年齢と共に日々衰えていくものです。透析中の安静にしている時間も無駄にすることなく、少しの運動でも筋肉を刺激しますので、お話しになつてもいいか？という声かけが、この効果は極端には表れませんが、血液循環を増します。また、足首の関節が固くなると、歩く際、つま先があがらず、転倒の危険が高くなりますので、足首を動かすだけでも違ってきます。

職員が企画する勉強会や、イベントも、患者さん同士の交流と、職員も交えた交流の場として、そして、知識を深める場として、提供させていただいています。毎回同じ事ばかりと感じる方もいらつしやるでしょうが、聞いたことがあるな？と思つていただけたら、私たちはすこうれしくなります。イベントも、皆さんの笑顔がたくさん見られると嬉しくなりますので、今後も継続させていただく予定です。

専門職として、透析のことはもちろん、運動の効果の説明や、勉強会を開催する意義、足観察の重要性など、文化祭や夏祭・カラオケの行事もあわせて、情報の発信をさせていただきます。

患者さんと、そのご家族の皆さんにより近い存在となるべく、精進していきます。



## 透析治療の質の向上

仁誠会技士部長 宇並美佐子

「検査結果、薬、病状・治療内容の説明がわかりやすい」と「穿刺時に心配りを感じられる」ことを筆頭に、すべての項目について肯定する回答が多く寄せられました。「穿刺技術が高い」および「担当者が代わつても同じようにサービスが受けられる」については、相対的にその通りだとする回答割合は低くなっています。

透析療法において一番穿刺が患者さんの気になるところでもあります。痛みが一番伴つるところでもあり、穿刺がうまくいかなかったらその日の患者さんのストレスも増大します。スタッフもまた穿刺が一番気を使うところでもあります。現状全てのスタッフが同じようなレベルで穿刺しているとはいえません。

昨年ポータブルエコーを導入し、簡便に血管を見ることができ、エコー下穿刺も取り組んでおります。来年度の取組としてエコーを使いトラブルなく穿刺できること、スタッフが同じように穿刺できることを目標としておりますので、よろしく願います。



## 家族支援

仁誠会看護科 赤とんぼ看護科長 田上千代子

満足度調査を受けて、家族様と職員の情報の共有や困つた時に近くにいる何でも話せる関係を今以上に作る必要があると感じました。

赤とんぼは在宅生活をするにあたり家族の支援施設です。在宅生活をするにあたり家族の支援はなくてはならないものですし、利用者様にとつても家族の存在は精神的にも大きな支えになります。しかし、介護というのは家族にとつて24時間365日ついてくるものでもあります。家族の皆様が心身共に健康でないと介護はできません。家族の皆様が困つた時、体調を壊した時に近くで支える存在になれる赤とんぼを作ります。

具体的には、各部署で定期的な家族会の開催、認知症や介護についての勉強会、職員への接遇研修、定期的な面談等を通して関係作りを努め、話しやすく頼りになる職員を目指します。

今後は、重介護や重度の認知症の利用者様、看取りの利用者様の入所や在宅が増えると思われまふ。赤とんぼでも利用者様がその人らしく楽しく過ごせる様に、介護科や他部署と連携して職員のスキルアップに努めます。

看護科では、居宅支援事業所への研修を今年度取り入れ、在宅生活を送られている様子を見て、それを支えられているご家族の声や思いを聞き理解することで、家族支援に繋げるように取り組みます。



## 骨折予防への取り組み ～骨密度測定器の導入～

骨粗鬆症とは骨の中のカルシウムやマグネシウムが病的に減少し、骨がスカスカになった状態のことをいいます。骨粗鬆症になると少しの衝撃や、転倒で骨折しやすくなります。さらに透析をしていると食事でのカルシウムの摂取が難しかったり、副甲状腺機能亢進症になったりすることでそのスピードは速くなります。仁誠会では昨年、骨粗鬆症の検査である、骨密度測定器を2種類導入しました。今回はその2台を紹介いたします。

1台目は使い勝手の良い検査で超音波法を用いた機器です。精度は少し落ちるものの、簡便でどこでも検査出来るので骨粗鬆症のスクリーニングには最適です。踵を機械にのせて挟むと2秒で測定は終わります。

2台目はレントゲンを使用した方法（DEXA法）を用いた機器です。超音波法に比べると精度が良好なので内服薬や注射の効果判定をするのにも使用できます。仁誠会クリニック黒髪のレントゲン室に設置しています。検査時間は胸部のレントゲンと同じく、数分で終了します。腕の骨（橈骨）のレントゲンをとり、その濃さで骨密度を測定します。座ったままで出来るので車椅子のままでも簡単に検査できます。当院では腕の骨を検査しますが、他にも腰椎や大腿で測定する方法もあります。

このように簡便に骨密度を測れることで骨粗鬆症の治療が早期に行えるようになり、透析患者さんたちや赤とんぼ利用者さんたちの骨折予防につながると考えています。







地域の元気をサポートします

第3回

# 生き生きフォーラム

3月8日(日)ケアセンター赤とんぼにて、第3回生き生きフォーラムが開催されました。

## 第1部:講演会



講演会は『知っておきたい介護予防のはなし』というテーマで、筑波大学大学院総合科学研究科 准教授の山田 実先生よりご講演をいただきました。「フレイル」や「サルコペニア」など聞きなれない言葉もわかりやすい説明で十分理解でき、貴重な筋肉をつけていくには、運動と同時に食事も重要であることがわかりました。みなさん元気な今のうちから運動をして『貯筋』をしたくなられたようでした。

後半は、赤とんぼの理学療法士 小山 光浩による『赤とんぼの転倒・認知症への挑戦』として、転倒を予防するためには運動と頭の体操の「二重課題」運動が効果的であり、実際赤とんぼでの効果について説明がありました。最後にはTKUの「かたらんね」でも放映された赤とんぼの「ブレイン(脳)ダンス」も会場全員で行い実践への一歩になりました。



## 第2部:体験コーナー

体験コーナーでは全体的に介護原因の多くを占める認知症と健康面に興味をもたれている方が多いようでした。特に、筋肉量や体脂肪量を計測できるインボディに希望者が殺到し、時間の都合で体験できない方もおられ、来年度はもっと多くの方に体験していただけるように工夫していきたいと思います。認知症対策として初回から続けている脳と身体を同時に使う二重課題コーナーや脳トレコーナーに加え、今回設けた認知症予防効果のアロマセラピーコーナーにも多くの方が参加されていました。

アンケートでも民生委員の方からは「地域の高齢者の方々への参考になった」「体操体験楽しかった。生き生きサロンで活用できそう」「筋力トレーニング始めます」など、嬉しいご意見もいただきました。来年、第4回の開催に繋げていきます。

地域の有志の方による毎回恒例の屋台コーナーも時間内に売切れてしまうほど大盛況でした。



第13回 赤とんぼ杯 予告  
**ダーツ大会** 6月21日(日)

医療法人社団仁誠会 相談窓口 (透析・介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい)

### ■仁誠会クリニック黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37  
TEL:096-345-6533 FAX:096-346-3388

### ■仁誠会クリニック大津

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2973  
TEL:096-232-9595 FAX:096-232-9888

### ■仁誠会クリニック新屋敷

改築中のため休診中

### ■仁誠会クリニックながみね

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10  
TEL:096-331-2211 FAX:096-360-4841

### ■仁誠会クリニック光の森

〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森3-1-1  
TEL:096-285-3466 FAX:096-285-3488

### ■通所リハビリテーション 赤とんぼ黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37  
TEL:096-346-3535 FAX:096-346-3537

### ■有料老人ホーム 赤とんぼ黒髪

TEL:096-346-3939 FAX:096-346-3538

### ■介護老人保健施設 ケアセンター赤とんぼ

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10  
TEL:096-331-3737 FAX:096-360-7103

### ■赤とんぼ 居宅介護支援事業所

TEL:096-331-3811 FAX:096-360-7103

### ■赤とんぼ 訪問介護事業所

TEL:096-331-8879 FAX:096-360-7103

### ■仁誠会クリニックながみね

訪問リハビリテーション事業所  
〒861-8043 熊本市東区戸島西2丁目3番10号  
TEL:096-331-2211

### ●個人情報保護について●

仁誠会では、当施設が保有している患者さん、その他関係者の個人情報に関して、関連法令・他法令を遵守し、個人情報の保護に取り組んでいます。個人情報は、当法人からの医療や介護サービスに関わる情報のご案内以外、他の目的には使用いたしません。

仁誠会窓口メールアドレス  
[jinsekai-madoguchi@jinsekai.or.jp](mailto:jinsekai-madoguchi@jinsekai.or.jp)  
ホームページ